

令和 4 年 1 2 月 2 3 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始良  
代表者氏名 桃木野 幸一

## 政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和 4 年 1 1 月 9 日～令和 4 年 1 1 月 1 0 日（1泊2日）		
活動場所	熊本県 ①益城町 ②大津町 ③八代市東陽町		
目的	展示会の見学と先進的農業経営の視察		
使途項目	旅費	経路内訳 と金額	様式 3、様式 5 のとおり
所見	1) 先進建設・防災・減災技術フェア ・熊本地震から学んだことを街づくりに生かす大切さや自然との向き合い方を学んだ。 ・日本を代表するトヨタ自動車の地域密着した生産ラインの構築の仕方に感動した。 ・時間短縮や経費節減、長寿命化を目的とした先進建設の開発を見学することができた。 2) 熊本玄米研究所 ・農機具メーカーのクボタが稲作農家を存続させたい思いから6次化産業を目指す取り組みを説明してもらった。 ・玄米ペーストからパン・麺を開発し商品化している。 3) 生姜選果場 ・町をあげての取り組みが成果に繋がっている。 ・生産農家の収益が日本一であり、後継者も育成している。 ・「G I 認証」というブランド化にも成功している。 ・各報告書は下記の通り（資料も添付）		
参加者名	①桃木野 幸一 ②和田 里志 ③湯元 秀誠 ④宇都 陽一郎	熊本地震の痕跡から私たちが学ぶこと（講話） 熊本玄米研究所（視察） 東陽町生姜選果場（視察） 九州はひとつ、トヨタの取り組み（講話）	





様式 6

# 領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。  
※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

## 明細書 (STATEMENT)

# ENEOS

Name お名前  
始良市議会 市政クラブ始輝 様

No.213095-MD

納品書(領収書)

2022年11月10日 16:11

売上 様 M  
6-020258-49996-001  
現金フリー  
車両番号 実車番  
0026-00  
レギュラー P01  
数量 11.24L  
単価 164円 ¥1,843  
.....  
(消費税10%対象 ¥1,843)  
消費税等 ¥184  
**合計 ¥2,027**  
約換 1万:7973 5千:2973 3千:973

有限会社 恒森石油 加治木SS  
鹿児島県 始良市  
東餅田1733-1 SS-020258  
TEL:099-565-2311  
レシートNo 5936-01  
テ-ルNo2167-2169  
002B 2022/11/10

ROOM NO. お部屋番号	PERSON. 人数	ARRIVAL DATE. ご到着日	DEPARTURE DATE. ご出発日
231	1	2022/11/09	2022/11/10

DATE 日付	ROOM NO. お部屋番号	EXPLANATION 説明	CHARGES ご料金	CREDIT お支払等
22/11/09	114	ご宿泊代	9,500	
22/11/09	115	ご宿泊代	9,500	
22/11/09	230	ご宿泊代	9,500	
22/11/09	231	ご宿泊代	9,500	
22/11/09	231	現金		38,000
<b>TOTAL AMOUNT ご利用金額</b>			<b>38,000</b>	<b>38,000</b>

ご精算金額には消費税が課税されています。領収書の捺印を以て領収証とさせていただきます。

ご署名  
SIGNATURE

### 領収書 (RECEIPT)

日付: 2022/11/10 No.213095-MD

始良市議会 市政クラブ始輝 様

¥38,000 -

収入印紙

税別: 今付

上記正に領収致しました。



## ホテルビスタ熊本空港

〒869-1235  
熊本県菊池郡大津町室943-1  
TEL.096-294-9777 FAX.096-294-9222  
<https://www.hotel-vista.jp/kumamoto-ap/>

様式 4

令和 4 年 1 2 月 2 1 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝  
代表者氏名 桃木野 幸一

## 政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

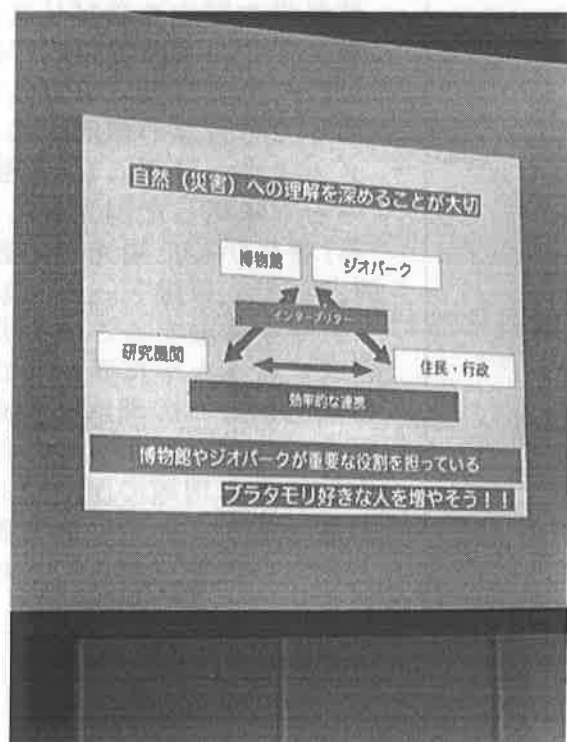
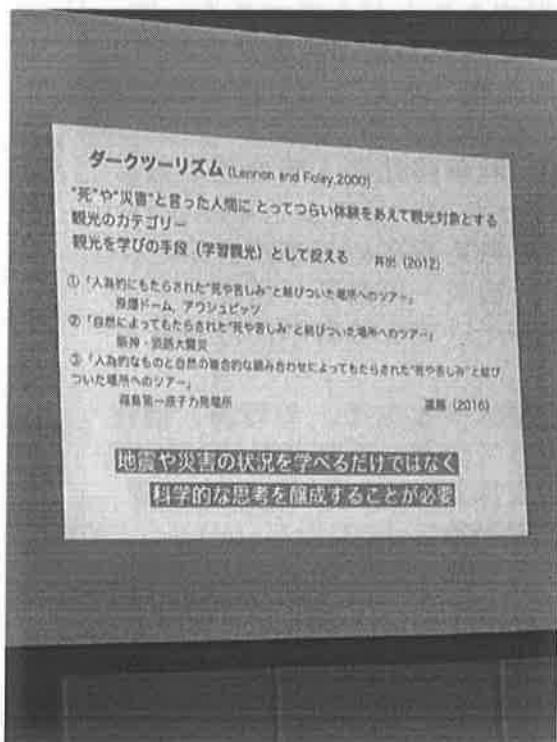
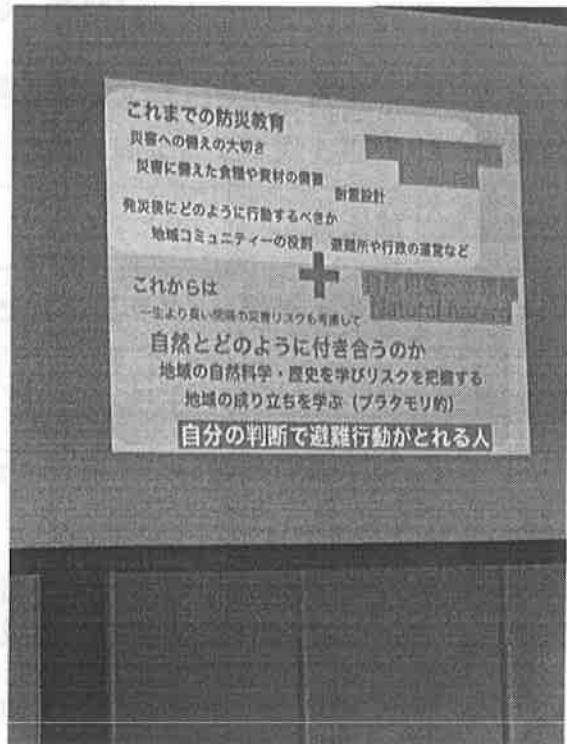
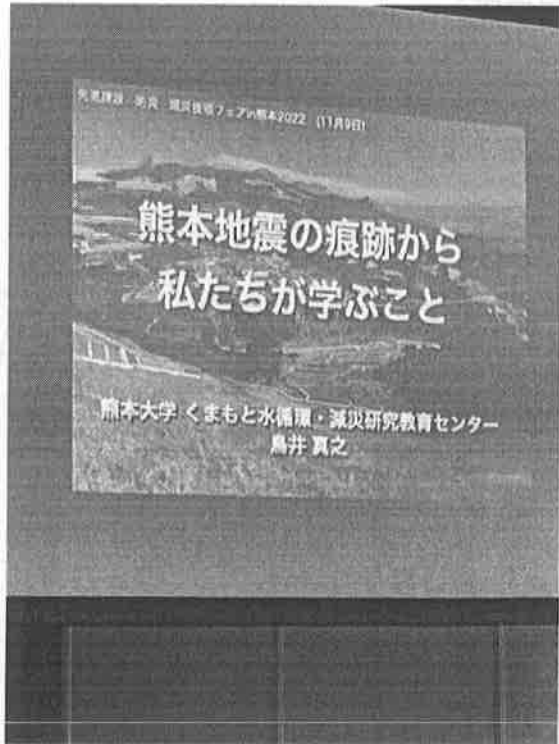
活動期間	令和 4 年 1 1 月 9 日～令和 4 年 1 1 月 1 0 日（1 泊 2 日）		
活動場所	熊本県		
目的	調査・研修（グランメッセ熊本）		
使途項目		経路内訳 と金額	別紙のとおり
所見	<p>熊本地震の痕跡から私たちが学ぶこと（講演） 熊本大学准教授 鳥井 真之</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 熊本地震は、2 0 1 6 年 4 月 1 4 日 M 6 . 5 4 月 1 6 日 M 7 . 3 の地震で熊本城など甚大な被害であった。</li><li>・ これまでの防災教育は災害への備えの大切さであり食糧や資材の備蓄が言われた。発災後にどのように行動すべきか地域や避難所・行政の在り方が問われていた。</li><li>・ 今後は、自然とどのようにつきあうか。その為には、地域の自然科学や歴史を学びリスクを把握することが大事である。即ち、自分の判断で避難行動がとれる人の育成が重要。また、人は、一生より長い年月後のことを真剣に考えない・自分のこととして考えない傾向がある。</li><li>・ ダークツーリズム（災害被災跡地・戦争跡地等人類の死や悲しみを対象にした観光のことでブラックツーリズムとも呼ばれる）を生かした観光で知識を深める考えを広める事が大事だ。例として、原爆ドーム・阪神淡路大震災・福島第一原発などのツアーを体験することで災害を学ぶだけでなく科学的な思考を醸成することが重要となる。</li><li>・ 自然（災害）への理解を深めることが大事となる。その為、博物館やジオパークが重要な役割を担っている。プラタモリ（地図を片手にその地域の歴史や成り立ちを探ること）を増やす事で理解度を増すことを広める事が重要である。</li><li>・ 上記のことを一般人に広めたり教育現場で取り上げる必要性を感じた。</li></ul>		

## 政務活動報告 (写 真)

【会 派】市政クラブ始輝

【日 時】2022年11月9日(水曜日)

【研修先】グランメッセ熊本(講演):熊本地震の痕跡から ~私たちが学ぶこと~



# 政務活動報告書

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和4年11月9日
活動場所	グランメッセ熊本
目的	先進建設・防災・減災技術フェアの見学
所見	<p>【講話テーマ】九州はひとつ ～地域活性化への提言～ トヨタ自動車九州株式会社 馬場 貞仁</p> <p>世界市場を有する日本のトヨタがどのようにして市場拡大してきたかを振り返りながら本題へと入っていた。その内容を要約してまとめます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・国内に生産拠点を3ヶ所配置している。そのひとつが九州であり、愛知県豊田市に次ぐ生産拠点である。</li><li>・当初は愛知県から7割の部品を供給していたが、現在は九州圏内から6割の部品を供給している。</li><li>・豊田市のような集約したトヨタ村を作るのではなく、九州の交通アクセスを利用して九州一円で事業展開している。</li><li>・人も物流も分散化した方が密集や渋滞を回避することができむしろ効率的な事業展開ができる。</li><li>・人が潤い、地域が潤うよう「幸せを量産する会社」を目指している。</li><li>・レクサスは生産台数の6割を九州で生産している。</li><li>・九州からアジアへも輸出している。</li><li>・九州は再生エネルギーも豊富なためEV車の普及も早いと期待している。</li><li>・工場内でも再生エネルギーを使用している。屋上に設置している太陽光パネルを電源とし、水電解装置を稼働させる。水素を貯蔵し、工場内の照明や空調、機械、フォークリフトに利用している。</li><li>・地域との協働協創にも取り組んでいる。産官学での連兼研究や災害時の支援、コロナ対応器具の寄付など。</li></ul>

	<p>(考 察)</p> <p>①トヨタ自動車九州は、九州一円で100%生産を目指している。しかも、交通アクセスと物流が良いことが条件のようだ。始良市はその条件に適している、なので自動車部品を製造する企業を誘致することも選択肢になると思う。</p> <p>②トヨタが「九州はEV車の普及が早いだろう」と予測している。多くのEV車が市場に出回ることを想定して、早目にインフラ整備を進めることも「住みやすい街づくり」に繋がると思う。</p> <p>③災害に備えて多くの発電機を準備するよりも公用車をEV車にし、災害時に電源供給できるようにする方が一石二鳥な使い方だと思う。</p>
参加者名	<p>①宇都 陽一郎 (報告者)      ②桃木野 幸一</p> <p>③和田 里志                      ④湯元 秀誠</p>



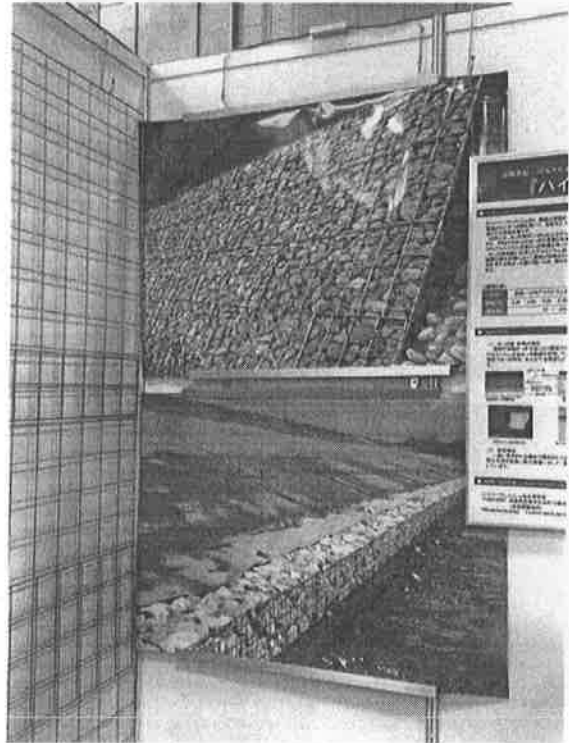


## 政務活動報告（写真）

【会 派】市政クラブ始輝

【日 時】2022年11月9日（水曜日）

【研修先】グランメッセ熊本：先進建設・防災・減災技術フェア



## 政務活動費における活動報告書

令和4年度「市政クラブ始輝」の主要な調査研究活動について下記のとおりご報告します。

報告者	和田里志
日時	令和4年11月10日(木) 午前9時30分～午前11時30分
訪問先	熊本県菊池郡大津町引水789-1 (株式会社中九州クボタ) (株)熊本玄米研究所 096-340-5500 (上西川原様)
参加者	市政クラブ始輝 4名
内容	玄米ペーストによる六次産業化の取り組みについての研修及び工場見学 その他 別添資料の通り

### (株)熊本玄米研究所の背景と狙い

- 国内では1人あたりのコメの年間消費量が年々減少する中、中九州クボタはコメの消費拡大に貢献するため2013年に玄米ペーストパンとパスタを製造・販売する株式会社熊本玄米研究所を設立。翌年には玄米パン専門店「玄氣堂」(<http://genkido-genmai.com>)をオープンした。
- 玄米は完全グルテンフリーであることに加え、白米や小麦粉と比べて栄養バランスに優れ、カロリーと糖質は変わらないまま多くの栄養素を摂取することができるため、玄米ペーストのパンやパスタは、健康志向が高く栄養バランスを気にされる方や小麦アレルギーの方にもおいしく食べていただける。
- この度、より多くの方に玄米を用いた商品を食べていただけるよう、幅広い年齢層に人気のあるラーメンを新たに発売した。また、販売中のパンはより軽く・ふんわりとした食感に、パスタはプリプリした食感にリニューアルした。
- さらに、パスタは製造工程を見直すことで大幅にお求めやすい価格にした。小麦の価格が高騰する中において、玄米を使った商品のラインナップを質・量ともに充実させていくことで、健康志向のお客様の満足とコメの消費拡大に貢献していきたい。

### 《 所見と考察 》

農業機械及び関連製品の販売・メンテナンスを行う株式会社中九州クボタが、コメの消費拡大に貢献するためと立ち上げた(株)熊本玄米研究所の視察研修を行った。

生産者が自ら様々な農産物の6次産業化に取り組む事例は多いが、農業機械販売の企業がこのような研究所を設置している事例は少なく、また同社は数々の特許を取得するなど、新たな商品の開発や販売を行っている。

中でも食料米を粉にする(米粉)のではなく、玄米をペースト状に加工し冷凍保存する方法で、小麦粉を使わないグルテンフリーのパンやめん(パスタやラーメン)の商品化に成功し、農林水産部門でも取り上げられるなど高い評価を得ている。

本国で唯一自給できるコメに着目し、特に飼料用米をペースト状にした加工食品が商品化できたことは例が無く、今後の需要拡大が期待されている。

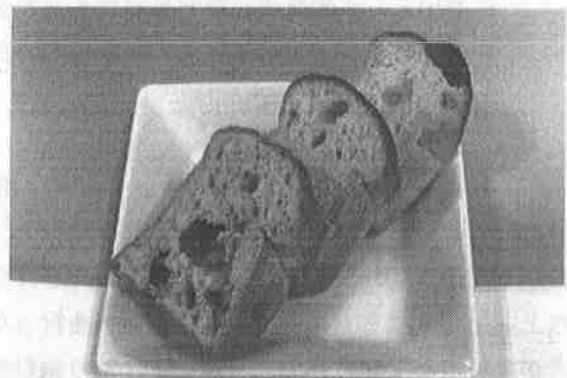
本市でもはだか麦の6次産業化やあご肉などが商品化されているが、最も多いコメ農家に着目した取り組みは大いに参考にできるものと思われる。

## 政務活動報告 (写 真)

【会 派】 市政クラブ始輝

【日 時】 2022年11月10日 (木曜日)

【研修先】 熊本玄米研究所



調査場所 : 八代地域農業協同組合 東陽生姜選果場  
期日 : 令和4年11月10日(木) 13:00~14:30  
視察の内容 : 東陽町の生姜生産の取り組みについて  
参加議員 : 桃木野 幸一 和田 里志  
湯元 秀誠 宇都 陽一郎

八代地域農業協同組合 東陽生姜選果場の見学・説明を担当の中原裕武氏より受けた。

### (産地の概要について)

八代地域における生姜栽培の主産地である東陽町は、熊本県中南部、八代平野と九州山脈に挟まれ、比較的温暖多雨な気候です。

東陽町の共販農家数は105戸、作付面積33ヘクタール、年間取扱荷受数量1,100トンである。中山間地特有の小規模な圃場での作付けが主体で、圃場あたりの平均面積は350平方メートル以下がほとんどです。

溪谷状の段々畑に広がる生姜の畑は、地域によっては棚田百選にも選出されている。傾斜があるため栽培管理は小型の機械や手作業が中心となり、圃場としては作業効率の悪い土地条件となっていますが反面、病気など不具合を早期発見でき細かな手当てを施す機会が増えるなど、全体的に品質の向上につながっています。

東陽で生姜栽培が始まったのは大正時代末期の頃。1931年に新規作物として導入され、東陽地区全域に広がりを見せた。

1970年の米の生産調整をきっかけに転作作物として栽培面積が拡大し、1980年には120haまで生産面積が増加した。

以後、栽培農家の高齢化や輸入生姜の増加による価格低迷などで減少傾向となりました。しかし近年安心安全志向が強まるなか、国産の生姜が注目され、現在は約33ha前後で推移しており東陽地区の基幹農作物となっている。また東陽地区を中心とする熊本県の生姜生産は高知県に次いで国内2位の生産規模を誇る。

毎年10月の第4日曜日には、生姜の収穫作業を告げる「しょうが祭り」が、作柄を見極める品評会と共に開催されています。この祭りは今年で48回を数え、全国各地から3万人を超える人々が集まる、町の一大イベントとなっている。

#### (生産・栽培・出荷上の特色)

生姜の収穫時期は10月下旬から約1ヶ月間と短い、大きさや病害虫の有無を確認し、秀品(青果用)・優品(加工用)に選別した後、JA生姜選果場に搬入。

新生姜は、低温貯蔵庫で最大13ヵ月(11月～翌年12月)の貯蔵出荷を行い12月末から取引先ごとにパックや袋の量目を調整し、100～150グラムまでの範囲で消費地域のニーズや価格形態に合わせた、キメ細やかな出荷体制を構築し関東・中部・関西方面へ、注文に応じて順次出荷する。

出荷形態としては、土付き、水洗い(バラ・パック・袋詰め)、漬物用があり、出荷の周年体制として、新しょうが、囲いしょうが(水洗いしょうが)、親しょうがなどの時期別出荷を行っている。

#### (生産者の取り組み)

しょうが生産で最も重要な種子として、オリジナル培養株を導入しました。現在は増殖を行っており、生産性や貯蔵性の高い品種の育成と優良系統選別による品質、収量の向上を図っている。

現在は、安定した生産ができるように防蛾灯による防虫対策、病害対策では圃場ごとの作業靴の履き替え、効率的灌水法の確立など、最も甚大な被害を及ぼす根茎腐敗病の予防を徹底している。

土作り対策として毎年土壌分析を実施し、耕畜連携を行い、御礼肥と収穫後に完熟堆肥を10アールあたり2トン以上投入し、連作体系に耐えうる土壌の管理を励行し、新たな生産地の開拓と輪作体系の確立が目標となっている。

#### (販売戦略)

貯蔵しょうがの周年販売の特性を活かし、全量予約相対取引を実施し、年度産の水洗い出荷開始時期に合わせ、全国的な相場の推移を検討しながら周年の値決め、オーダー受注による出荷を行い、年間を通じた安定取引を行っている。

また、商品性においても他産地との差別化を図るため、出荷者全戸の生記帳と定期的な残留農薬分析を行いながら、安心安全なしょうがを生産を行っている。

出荷する際の調製作業は、生姜特有の不要なこぶなどのカット作業を行うことで、消費者が家庭で調理しやすいよう心がけています。また、消費拡大の一貫として、女性部を中心に取引スーパーでの試食宣伝会を実施しており、生姜を利

用した料理レシピなどの提案を行い、関係機関と一体となって生姜加工品の商品化にも取り組んでいる。

八代市東陽町ブランド商品として、JA直売所「かあちゃん市場」、町内直売施設「菜摘館」や「ふるさと直送便」などで販売している。



( G I 八代生姜 ) 日本 地理的表示

特定農林水産物等の名称の保護の認証を令和2年に受ける。

この法律は、特定農林水産物等の名称の保護に関する制度を確立することにより、特定農林水産物等の生産業者の利益の保護を図り、もって農林水産業及びその関連産業の発展に寄与し、併せて需要者の利益を保護することを目的とする。

#### (視察のまとめ)

始良市の産業別の就業構造では、第1次産業就業者の今は5～6%と激減し、サービス業などの第3次産業への就業が現在は7割を示し、兼業型農業が主である。

始良市の平地の中心部では都市化で農地の転用が進み、中山間部では基盤整備の図れない農用地、地域の高齢化による担い手不足による耕作放棄地が増えているのが現状である。

始良市の農用地は水田が主であり、稲作中心で、一部、環境保全型農業の有機栽培の推進が図られているが、土地生産性の高い特定作物や2毛作の裏作などの取り組みが見られず、地域の農地の保全是兼業農家の参加によって、やっと守られていると言っても過言ではない。

何故、農業の基盤が弱いのか、それは儲からない農業形態にほかならないからである。東陽町では、高齢による離農者もある反面、その後継者、農業移住者などの世代の担い手は確保され、近年の就農者は増減0であると説明された。

これは何を示しているか、生産力が活発で儲かる農業の見える形態の地域では、当然であり就農希望者があるのは自然的であると言える。

ここの課題は、土地生産性、労働生産性の高い生姜生産農家は規模拡大の希望者が多く、意欲ある生産農家の新たな開拓で、農用地の確保が必須である。

始良市は近隣に大きな消費地を有する条件を活かすに足らず、水田を広く有しているながら、農地をフルに活かしきれない農業形態からの脱却はなかなか難しい。

元は、小さな村から生姜栽培が始まり、市町村合併と共に JA やつしろのイグサ・晩白柚と共に「八代生姜」の特定作物の G I マーク認証がなされ、ブランド向上を目指す取り組みに学ぶことは、始良市の農業の浮上戦略のヒントになると考える。



## 政務活動報告 (写 真)

【会 派】市政クラブ始輝

【日 時】2022年11月10日(木曜日)

【研修先】東陽町生姜選果場

